

教育目標

自主
他敬 自愛
創造

内野中だより

内野中ブログ
QRコード



新潟市立内野中学校だより 令和7年2月28日(金) 発行 第11号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161
生徒数 1年生288名 2年生255名 3年生255名 計798名(2月28日現在)

令和7年2月3日(月) 全校朝会 校長講話より

目指す生き方とは

校長 佐藤 靖子

いよいよ、春が近づき、第3学年の皆さんは、卒業式が目の前となりました。本日は、全校が揃う最後の全校朝会です。自分の信念の持ち方や生き方について参考になるよう、2つの話をします。

1つ目は、1月16日に日本野球殿堂入りと1月22日にアメリカ野球殿堂入りを果たした人と言えば、イチロー(鈴木一朗氏)です。アメリカ野球殿堂入りは、アジア人初です。この殿堂入りには、アメリカのマスコミ関係者



394名が殿堂入りにふさわしい実績と人物かを審査します。この度のイチロー選手が獲得した投票数は、393/394人(99.7%)の圧倒的得票数で殿堂入りが決まりました。さて、あと、一人投票してくだされば100%満票の大快挙だったわけです。イチロー氏はこの満票を逃したことをどのように語ったのでしょうか?イチロー氏「1票足りないというのは、すごく良かったと思います。いろんなことが足りない。人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんです。不完全であるというのは、いいなって。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけです。そこに向き合えるのは良かったと思います。」投票前から、満票できるかどうかと白熱した報道もありましたが、そのような次元ではないイチロー氏のこれからも自らを

厳しく律しながら生きていく素晴らしい姿勢を見せていただきました。

2つ目は、東京(羽田空港)発 大阪(伊丹空港)行きの飛行機に搭乗した方からのお話です。大阪が近づいてきた頃、機長のアナウンスが客席に流れました。機長「ただいま、伊勢湾の上空を飛行中です。本日はご利用いただき、誠にありがとうございました。私ごとでございますが、入社して38年間、空に親しみ、安全第一を心掛けて今日に到りました。この度、還暦(60歳)を迎え、定年退職をすることとなりました。この飛行機が大阪に到着しますと、私の機上での生活は終わることとなります。長い間、ご支援をありがとうございました。」という機長の挨拶に、乗客は一斉に拍手を贈りました。そこへ、CAさんが来たので、お客さんが「いい挨拶でしたね。何という機長さんですか?」と尋ねると、CA「セキヤ ヒデオ 私の父です。」乗客「あ、あなたのお父さん、いいお父さんですね。大事にしてくださいね。」CA「ありがとうございます。実は、姉も今日はこの飛行機に同じくCAとして勤務しております。」お父さんの後を追って、空で働く姉妹を父親のラスト・フライトに勤務させて一緒に飛ばせた全日空の粋な計らいと、セキヤ機長の空の仕事に誇りをもって任務を終えていく生きざま、その父親の背中を見て育ち、憧れて同じ空の仕事を選んだ姉妹の生き方に遭遇した方からのお話でした。



第3学年の皆さんは、いよいよ卒業が近づいて参りました。学校は、ある意味、飛行場のようなものだと思います。学校で様々なこと(人間性、学力、技能)を磨き、身に付け(搭載して)、滑走路からそれぞれ目的地に向かって離陸(卒業)していきます。

イチロー氏のように、自己を磨き続けていく生き方や、お客様の安心安全な旅を支えることに誇りと感謝の気持ちをもって職務に専念していく姿等、様々な生き方があります。自分の信念、ポリシーは何でしょうか?

卒業する第3学年、進級する第1, 2学年の未来に幸あれ。

生徒総会・生徒会役員任命式（1月20日）

生徒総会では、4月からの活動を振り返り、課題などを明らかにしました。来年度役員任命式は生徒会役員選挙で選出された4名が校長から任命され、その後、新生徒会長から各専門委員長、書記局員が任命されました。3年生は、実質この総会で引退となります。役員、総務、各委員長とも、内野中学校のために全力を尽くしてくれました。ありがとうございました。新役員の皆さんは、先輩の思いを受け継ぎよりよい生徒会、よりよい学校を目指してほしいと思います。

生徒総会活動報告の様子



生徒会役員任命式の様子



新生徒会長 Hさん 任命式挨拶

新生徒会長のHです。私は、新生徒会スローガン「share with all」を中心とした、生徒会活動の「発信」、そして学校内での「協力」という二つの目標を達成するために、全校生徒を引っ張っていく責任と誇りを胸に頑張っていきたいと思います。また、今回の生徒総会では、今年度の振り返り、そして私たち生徒会三役、専門委員長、書記局員の任命式・委嘱式という、来年度へ向けた引き継ぎ、世代交代がされました。私たちは、先輩方が築き上げた内野中を背負って頑張ります。これまで生徒会活動を引っ張って下さった、生徒会三役、専門委員長、部長のみなさん、本当にありがとうございました。

生徒朝会（2月21日）



新生徒会副会長、新生徒会書記局長から、役員就任の挨拶がありました。新生徒会三役で生徒朝会を運営するのは初めてでしたが、落ち着いて運営する様子に頼もしさを感じました。

新三役がそろって挨拶しました

新生徒会副会長に就任しました、Oです。この学校を、より明るく規律あるものにするために、精一杯努力していきます。一年間よろしくお願いします。

新生徒会副会長に就任しました、Yです。内野中を、今よりももっと笑顔が溢れ、居心地良く過ごせる学校にするために全力を尽くします！！

新生徒会書記局長に就任しました、Mです。全校の皆さんの役にたてるように、積極的に行動を起こしていきます。一年間よろしくお願いします。

人権教育講話（2月21日）

北朝鮮による日本人拉致問題 一日も早い帰国実現に向けて

宮浦中学校教諭 間 英法（はざま ひでのり）先生から第3学年の生徒へ講話していただきました。間先生と拉致被害者である横田めぐみさんは、同じクラスだったそうです。講話の中で、**「必ず取り戻す！」**と書かれたポスターについて、間先生から「誰が」「誰に」に向けて言っていると思いますか、という質問がありました。生徒からは、「家族が北朝鮮に向けて」「日本政府が北朝鮮に向けて」などの考えが出ました。間先生は「色々な解釈の仕方がありますが、私の場合は **自分が、拉致被害者の方の家族に向けて**と考えています。」と答えられました。この言葉がとても印象に残っています。拉致問題を自分事として真剣に考える生徒の姿が見られました。また、当日は報道各社からの取材もあり、講話後のインタビューでは、「風化させない、家族にも知らせたい、拉致のニュースをこれからも注視したい」等、自分の考えを堂々と述べる多くの生徒がおりました。



北朝鮮による横田めぐみさんの情報の矛盾について説明を受ける様子

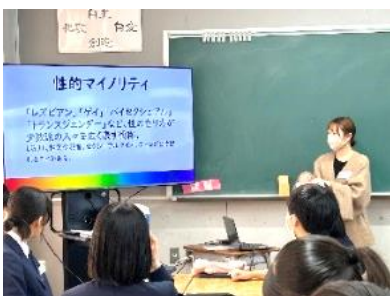
「必ず取り戻す！」のポスター2階の廊下に掲示しています



SDGsファシリテーション講座（2月20日）

みんなちがってみんないい ～虹色の明日へ～

新潟国際情報大学の学生から、第2学年の各クラスでワークショップを行っていただきました。初めにクイズの答えを考えたり、ロールプレイを行ったりして、性的マイノリティについて知識を深めました。その後、性的マイノリティ以外にも、身の回りに多くの多様性が存在し、誰もがマイノリティでありマジョリティであることを学びました。「違う意見や考えの人とどうしたらお互いに尊重し合えるのだろう？」の問いにグループで話し合い活動を行い、その後一人一人が行動宣言文を作成しました。



新潟国際情報大学の学生による説明
性的マイノリティについて知識を深める場面

生徒の行動宣言



第78回卒業生同窓会入会式（2月25日）

内野中学校同窓会会長 佐藤 正人（さとう まさひと）様よりご出席頂き、同窓会入会式、記念品贈呈式が行われました。佐藤様から「内野中学校卒業生として生きてきたことに誇りをもって活躍してほしい」と3年生へはなむけの言葉を賜りました。

記念品贈呈

第78回同窓生代表 Kさん

私たちは、歴史と伝統のある内野中学校の同窓会に入会できることを、とてもうれしく誇りに思います。さらに、同窓生としての責任の重さも感じます。それぞれの進路先で内野中学校の卒業生であること、同窓生の一員であることを忘れずに自覚をもって生活していきます。



入賞の記録

令和6年度 新潟県書初め大会毛筆の部 特選 2年7組 H

新潟県児童生徒絵画・版画コンクール 金賞 1年1組 T
3年2組 K
銀賞 1年8組 T
3年7組 I
3年7組 T

明るい選挙啓発ポスター新潟市審査 特選 3年7組 T
新潟県審査 入選 3年7組 T

第23回新潟県ヴォーカルアンサンブルコンテスト（合唱部） 小学校中学校の部 金賞
※3月9日に千葉県で行われる関東ヴォーカルアンサンブルコンテストに新潟県代表として出場

社会を明るくする運動

新潟中央地区保護司会の方が来校され、3年生へ法務省保護局「保護司というボランティア活動について」の資料と記念品をいただきました。社会を明るくする運動は、誰でも参加することができる立ち直りを支える活動であることや、保護司がどのような活動をしているのか学ぶきっかけになりました。

